

## ダムとの出逢い

Encounter with a dam



株式会社阿部工務店

あべみちよ  
**阿部路代**

Michiyo ABE

### 1. はじめに

山奥の小さな建設会社で働いている私。「うちの川ファン」に投稿できる光栄な機会をいただきましたので、子ども4人を育てながら田舎で暮らすドボジョならぬドボオバサン(?)の想いを書かせていただきます。

### 2. 身近にあるダム

私の会社は、栃木県日光市湯西川温泉にあります。日光市と聞けば、まず思い浮かぶのは、世界遺産に登録されている日光東照宮や鬼怒川温泉などではないでしょうか。もし、日本一を誇れるものがあるということをお思い浮かんだ人はマニアですね！日光市は、「ダムカード」公式発行数日本一の記録を持っているのです！近年は、インフラツアラーが人気ということもあり、温泉よりもむしろダムを目当てに訪れる人が多いそうです。私は、ダムマニアではありませんが、仕事でダムの維持工事をさせていただいています。会社から車で1時間圏内に4つの国交省管理のダムがあり、その一つの湯西川ダムの上流側に会社と住まいがあります。街に用事があるときは、2つのダムの脇道を通って山道を下って行きます。子ども達も通るたびにダム湖に目がいくようで、「今日のダムは水が少ないね。」「あそこに流木が溜まっていたよ。」「ダムに浮いているゴミはどうなるの?」と言った会話が聞こえてきます。また、学校の授業でも、「ダム見学」があります。なんと不思議なことに、子どもの通う学校には、毎年といっていいほど必ずダムマニアの先生が一人はいるのです！

先日、ISO監査員の方を現場まで案内する車中でのこと。世間話をしていたつもりが「ダムについて熱く語られますね。」と言われ、自分でも驚いてしまいました。



### 3. 湯西川ダム完成

ダムができる前、山奥の平家落人伝説が伝わる湯西川温泉までの道のりは、悪路とはいえ美しい景色でした。湯西川温泉駅から30分弱。初めて来る方は、バスに揺られながら、山や川の景色を眺めてうっとりするのも束の間、行けども行けども民家は見えず……といった状況に、どこに連れて行かれるのかと不安に駆られたと言います。私の友達もバイクで来ましたが、「さすがにこの先に民家があるわけがない、道を間違えた」と思い途中で引き返してしまった程です。そんなこんな長い道中に、2012年湯西川ダムが完成しました。湯西川小中学校の子どもたちは、定礎式や湛水式、竣工式などの式典への参加をはじめ、トンネルや橋の現場見学など貴重な経験をさせていただきました。当時小1だった息子は、特に定礎式は楽しかったらしく、「来年も楽しみだ!」といただいた紅白饅頭を頬ばり、はしゃいでいたのを覚えています。定礎式は1回しかないと説明するのがかかりしていました。そんな息子も中3になりました。この9年間は、息子も成長しましたが、湯西川温泉駅から湯西川へ向かう景色もすっかり変わりました。



定礎式 子どもたちの思いを石に



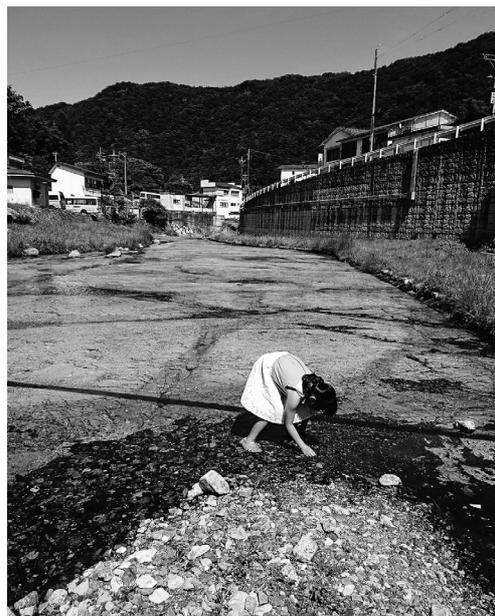
湛水式 湯西川小中学校の子どもたちによる挨拶と合唱

#### 4. 湯西川の生活

湯西川ダム完成当時、ダムの上流に温泉街があるのは珍しく日本で2か所しかない、と伺いました。そんな山奥の温泉街には、保育園、学校、郵便局、公民館などの公共施設、旅館、ホテル、何よりおいしい空気、そして湯西川という名の川と壮大で美しい大自然があります。“住めば都”とはこのことです。子どもたちも大自然を贅沢に満喫しながら生活しています。登下校中は、橋を渡りながら、湯西川の流れを吸い込まれるように見つめ、四季折々の移り変わりを感じ取っているようです。

地名が河川名の通り、昔、湯西川は生活の中心でした。今も、川に沿って民家や旅館が並んでいます。また、湯西川は、子どもたちにとっての先生でもあります。魚釣りや川遊びを通して、自然の楽しさや恐ろしさを教えてくれています。さらに、自然環境への影響を感じ、中学生は釣りに行くとごみを拾って帰ってくる、と話をしていました。

長い冬を終えた4月の日曜日。まだ雪も残る中、楽しみにしていた釣りの解禁日がやってきます。「大きい石の所でつっぺっちゃった～（川に浸かってしまった）」「針合わせに失敗して大物を逃がした～」「見える魚は釣れないって言うけれど本当だね～」等々。子ども達の話を聞くことは、私の楽しみです。楽しみを与えてくれる湯西川に感謝しています。



夏の湯西川 透き通ったきれいな水

#### 5. ダムの景色

街に下りるときは、湯西川ダムと五十里ダムを通ります。春夏秋冬、季節と共に山とダム湖は美しく変化します。空と山とダム湖のコントラストには、心も癒されます。子どもを叱りすぎたかな、と反省するのもこの場所です。しかし最近では、運転しながら目が追っているのは、流木がないかな、と流木止め（オレンジ色のフロート）と堤体付近だったりするのです。流木は、放流時や管理上の障害となるため、処分しなければなりません。現場のあるあるですね。

昨年、川俣ダムから車で移動中のこと。川治ダム湖に浮かぶ虹を見ました。放流時に虹が見えることは良くありますが、ダム湖に浮かぶ虹を見たのは初めてです。感動しました。



川治ダム湖に浮かぶ虹

